

＊ ＊ 広町の森・植物だより ＊ ＊

#17 ユリ 尽くし

2007年6月

鎌倉市七里ガ浜二丁目・角田

- * ユリの花が目につく季節になりました。今回はわたしが趣味で撮った広町のユリの写真をご紹介します、本やテレビや人から得たユリに関する知識を少しお話ししたいと思います。一緒にお楽しみを。(1～5P)
- * 日本のユリは綺麗で香り高いもの、つまり観賞価値の高いものが多く、江戸時代にヨーロッパに紹介され、これをもとにさまざまな品種が作り出されました。現在、世界中で栽培されている園芸品種の多くは、日本のユリが交配親になっています。日本固有のユリも多く、いわば日本は“百合大国”なのです。

(1) 広町のユリはヤマユリ



(御所が谷・川沿い)

- * 大柄であでやかで、“そばかす美人”が身上なので見分けやすいですね。香りも強く山道を歩いていると、遠くから香りでそれと気がつくこともあります。広町の百合はわたしの知るところすべてこれです。4～5年前、小竹が谷の入口でタカサゴユリらしき（白、テッポウユリに似ている）を見ましたが、現在はありません。

(2) 種類・来歴

- * ユリは北半球だけに自生し、世界に約 **100** 種あるといわれます。日本には **15** 種が自生しており、そのうち **7** 種は日本だけにしか分布していない固有種です。



(愛称“ゆり広場”、二丁目入口より東)

- * 今は園芸種開発が盛んで、園芸店を覗いてみると、原種からさまざまに交配が行なわれ、人工的に作り出された品種が、“ハイブリッド”と称して、いろいろな名前がつけられて売られています。これらは「英国王立園芸協会」により、便宜的にオリエンタル・ハイブリッド、アジアティック・ハイブリッド 等々と分類されていますが、多くてわずらわしいほどです。おそらくなん百種類でしょう。
- * 個人好みですみませんが、わたしは自宅の庭にも“原種”がいいと思い毎年球根（正確には、鱗茎）を園芸店でもとめますが、手に入れにくいです。
- * ちょっと細かくなりますが、参考データとして日本の原種ユリを列挙します。
 - (1) 日本にだけ自生するもの：
ヤマユリ、ササユリ、オトメユリ、ウケユリ、タモトユリ、サクユリ、イワトユリ
 - (2) 日本とその周辺（朝鮮半島や中国）に自生するもの：
テッポウユリ、エゾスカシユリ、ヒメユリ、カノコユリ、クルマユリ、スゲユリ、オニユリ、コオニユリ、

(3) 食べるゆり根

- * ゆり根（鱗茎）は京料理には欠かせない食材といわれます。独特のほっくりとした食感は上品でなかなか乙なものだと思います。食べるのは、主にオニユリ（またはコオニユリ）とヤマユリです。魚も同じでしょうが、この美味しいということが、ヤマユリ君にとって悲劇のもとですね。ヤマケイ・ポケットガイドブック「野菜・果実」篇にも、百合根はちゃんと載っています。同ガイドブック「薬草」篇にも、オニユリが薬草として載っています。利尿、咳止めなどに良いとされ、オニユリはもと中国から薬草としてもたらされたという説もあります。



（御所が谷・畑の西南斜面）

- * 主に北海道などで、ゆり根専業に近い農家もあります。日本全国の半分以上を北海道から出荷しているとのこと。オニユリの鱗茎です。テレビでやっていましたが結構大変です。ユリはビールス病などにも弱く、成長もゆっくりだからです。1年目2年目は花を咲かせずひたす球根を肥大させ、3年たって大きな球根にして出荷するわけです。
- * わたしは好きなので毎年の暮れ八百屋で買いますが、直径7～8センチぐらいのでっかくてずっしり重いやつは、4～5百円します（鎌倉駅近くの青物市場）。
- * 一昨年の暮れ、ワンパック2ヶ入りを買って、1ヶはワイフに渡して料理してもらい、もう1ヶはどうなるかと思って、鉢に植えて冬を越したら、5月ごろ芽がに

よつきり出てきて、夏にオニユリの花が **10** ケ以上も見事についたのには、びっくりしました。後から考えてみると充実した良い球根なので当たり前ですね。

- * ここまで書いてきて、突然「畑の会」さんに 提案が浮かびました。今年の秋に畑の隅にでもオニユリの作付けをしてはどうですか。翌年花を楽しんでから、収穫して汁鍋に入れたらいかが。“外部の草花を持ち込むな”?? → オニユリは野菜、トマトの花やジャガイモの花を咲かせるのと同じこと。

(4) 果実・タネ

- * 花のあと下の写真のような立派な実がなり、はじけてタネが散ります。
- * ヤマユリは鱗茎でも、タネからも増えますが、タネは条件がよほどよくないと発芽までいかないようです。発芽しても、花が咲くまで、**3~5** 年かかると聞きました。
- * 多くの植物は増殖のため、**2** つ以上の手段もっています。
- * ヤマユリは面白いことに、通常ツボミは下向き、花は横向き、果実は上向きです。



(御所が谷)



夏



秋

- * (註) 先に畑のところで挙げたオニユリは例外的で結実しません。その代わりに“むかご”(珠芽)が葉の脇にできて増えます。コオニユリは結実します。

(5) 大船植物園のベニスジヤマユリ

- * 最後に広町ではありませんが大船植物園が自慢?のベニスジヤマユリというのをご紹介します。自生のヤマユリの変異種で、**10** 年に一度くらいの割合でしか現れない、大変珍しいものだそうです。



- * これは横須賀市内で見つかったものを、大船植物園が育て、増やしたもので毎年 **20** ヶ近く咲くといえます。
- * この写真は **2003** 年 **7** 月 **15** 日に撮ったものです。ご興味のある方は大船植物園へどうぞ（入って左手、池の横、築山のあたり）

（終わり）